

第 78 期

中間事業報告書

平成14年 4 月 1 日から

平成14年 9 月30日まで



日本高周波鋼業株式会社

会社の概要

(平成14年9月30日現在)

- ◆設 立 昭和25年5月18日
- ◆発行する株式の総数 24,000万株
- ◆発行済株式の総数 146,876,174株
- ◆資 本 金 156億6,965万3,575円
- ◆株 主 数 15,849名

営業品目

製品名	種類	用途
特殊鋼	合金工具鋼	各種高級工具材料
	高速度工具鋼	各種切削工具材料
	軸受鋼	各種ベアリング材料
	炭素工具鋼	各種工具材料
	ステンレス鋼	耐蝕耐酸用材料
	耐熱鋼	
	マルエージング鋼	各種機械部品材料
	機械構造用鋼	
特殊合金	Fe基、Co基、Ni基	電子部品材料
		溶接材料
加工品	冷間圧造品	自動車部品材
	プレハードン材	金型部品材
	シリンダー	機械部品

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のことと存じ上げます。

当社第78期上半期（平成14年4月1日から平成14年9月30日）が終了いたしましたので、その営業の概況および中間決算の内容についてご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期の我が国経済は、一部にIT産業の回復など経済の拡大が見られ、国内総生産は僅かながらプラスに転じ緩やかな回復を続けました。しかし、デフレ傾向の中の需要回復は力強さに欠け、浮揚感の少ないものに止まりました。

一方、世界経済は米国やアジア諸国を中心に景気拡大が続きましたが、米国企業の会計不信問題・イラク情勢の緊迫化などによる世界同時株安や米国景気の拡大テンポ鈍化などにより、先行き懸念が高まりつつあります。

さて、鉄鋼業界におきましては、景気の緩やかな回復基調を受けて、粗鋼生産量は前年同期比4.6%増の5,463万トンとなりました。特殊鋼業界につきましては、主要需要業界の自動車生産が好調な事に支えられ、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は前年同期比では13.6%増の889万トンとなりました。しかし、内訳は量的に大半を占める構造用鋼の伸びが大きく、当社が得意とする分野の工具鋼では5.8%の減、ステンレス条鋼では11.1%の減でした。

このような環境の中で、当社は海外市場の開拓など受注の拡大に精力を傾注いたしました。上半期の売上数量は対前年同期比3.4%減の53,300トンに止まりました。また、売上金額は昨年7月に金型・工具事業を分社した影響もあって、対前年同期比12.9%減の9,421百万円となりました。

一方、当上半期の損益は、売上高の減少、合金鉄・鉄屑の値上り、円高による利益の減少など大きなマイナス要因もありましたが、一時金の大幅な減額を始めとした経費の削減、ならびに製造コストの低減を強力に進めました結果、経常利益は前年同期の64百万円に対し、倍増となる129百万円を計上いたしました。なお、中間利益は退職給付債務の償却を織込み29百万円といたしました。

さて、当社は進行するデフレの中で一層激化する価格競争や、厳しい経営環境に対応して、本年4月から「緊急構

造改革プラン」をスタートさせております。この骨子は、製品マトリックスの拡大、設備の操業度を上げるための提携・連携、短期間で業績に寄与しうる新製品・新技術を開発することにあります。

具体的には、工具鋼分野では能力および製造可能サイズの拡大を目的として、2,500tプレスをも3,000tプレスに更新すべく既に設備の発注をした他、中国・東南アジアへの更なる進出を図るため、広州およびバンコック事務所に加え上海事務所を開設しました。既にこの地域では著しい売上の増加が図られております。さらに、工具鋼の国内販売では、東日本地区の拠点作り（株カムス）を終え、9月には西日本の拠点となる直系の販売会社（株）因幡テクノを立ち上げました。引続き新製品の上市も行なっております。

軸受鋼を主体としていた二次加工分野は、特殊合金鋼・ステンレス鋼を加えた複合二次加工メーカーへ脱皮すべく、連伸機・熱処理炉などの設備投資を決定し、また、IT分野への本格的参入を図るべく東南アジア市場への展開を強化しております。既にIT関連製品の新規受注など実績をあげております。

既存設備の稼働率向上に関しては、圧延設備の改造を終えて、チタンの受託圧延を開始しております。

これら一連の設備投資の総額はおよそ10億円に達し、前述の如く既に一部戦力化しておりますが、2003年度には当社の収益構造は大幅に改善されます。

なお、不良債権処理問題や米国を始めとする世界経済の減速懸念など、今後も厳しい経営環境が続くものと予測されますことから、中間配当につきましては、誠に遺憾ながら見送らせていただきたく、ご理解の程お願い申し上げます。

平成14年12月

取締役社長 前野定弘

中間貸借対照表

(平成14年9月30日現在)

科 目	金 額
資 産 の 部	40,066 百万円
流 動 資 産	15,772
現金及び預金	3,715
受取手形	1,106
売掛金	4,472
製品及び半製品	2,644
仕掛品	2,061
原材料及び貯蔵品	1,222
前払費用	95
短期債権	446
その他	19
貸倒引当金	△ 12
固 定 資 産	24,289
有 形 固 定 資 産	19,409
建物	3,091
構築物	404
機械及び装置	8,125
車輛及び運搬具	54
工具器具及び備品	138
土地	7,424
建設仮勘定	169
無 形 固 定 資 産	42
特許権	9
諸施設利用権	8
ソフトウェア	25
投 資 等	4,838
投資有価証券	1,737
子会社株式	1,689
長期貸付金	951
長期前払費用	21
その他	626
貸倒引当金	△ 189
繰 延 資 産	4
新株発行費	4
資 産 合 計	40,066

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額……………37,140百万円
 2. 受取手形割引高…………… 699百万円

科 目	金 額
負 債 の 部	21,235 百万円
流 動 負 債	13,989
支 払 手 形	2,615
買 掛 金	1,710
短 期 借 入 金	7,995
長期借入金(1年以内返済)	789
未 払 金	249
未 払 費 用	514
未 払 法 人 税 等	4
未 払 消 費 税 等	41
預 り 金	17
賞 与 引 当 金	51
固 定 負 債	7,245
長 期 借 入 金	1,487
長 期 未 払 金	236
退 職 給 付 引 当 金	4,381
役員退職慰労引当金	80
土地再評価に係る繰延税金負債	630
長 期 預 り 金	429
資 本 の 部	18,831
資 本 金	15,669
資 本 剰 余 金	1,728
資 本 準 備 金	1,728
利 益 剰 余 金	579
中 間 未 処 分 利 益	579
(うち中間利益)	(29)
土地再評価差額金	911
株式等評価差額金	△ 57
自 己 株 式	△ 0
負 債 ・ 資 本 合 計	40,066

3. 保証債務…………… 827百万円
4. 1株当たり中間利益…………… 0円20銭

中間損益計算書

(平成14年4月1日から
平成14年9月30日まで)

科 目		金 額	
		百万円	百万円
経 常 損 益 の 部	営業 損益 の部	I 営業収益	9,421
		売上高	9,421
		II 営業費用	9,230
	売上原価	8,452	
	販売費及び一般管理費	777	
	営業利益	191	
	営業外 損益 の部	I 営業外収益	354
		受取利息及び配当金	32
		その他の収益	321
		II 営業外費用	416
支払利息	100		
その他の費用	316		
経常利益	129		
特別 損益 の部	特別利益	115	
	投資有価証券売却益	115	
	特別損失	210	
	退職給付債務変更時差異償却額	210	
税引前当期利益		34	
法人税、住民税及び事業税		4	
中間利益		29	
前期繰越利益		549	
中間未処分利益		579	

(注) 中間貸借対照表および中間損益計算書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員

(平成14年9月30日現在)

取締役社長	前	野	定	弘
常務取締役	木	村	幸	照
常務取締役	大	屋	暁	明
常務取締役	祖	川	英	彦
取締役	光	武	紀	芳
取締役	古	澤	貞	良
取締役	笹	本	泰	彦
監査役	山	本		卓
監査役	伊	藤	靖	三
監査役	藤	原	寛	明
監査役	中	條	芳	治

株主メモ

- ・ 決 算 期 毎年 3 月 31 日
- ・ 定時株主総会 毎年 6 月中に開催
- ・ 株主名簿閉鎖期間 毎年 4 月 1 日から 4 月 30 日まで
その他必要あるときは公告を行なう
- ・ 名義書換代理人
事務取扱場所 〒100—0005
東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号
みずほ信託銀行株式会社本店
証券代行部
- ・ 郵便物送付先
電話お問合せ先 〒135—8722
東京都江東区佐賀一丁目 17 番 7 号
みずほ信託銀行株式会社
証券代行部分室
電話 0570—000324（専用ダイヤル）
（03）3642—4004（代表）
- ・ 同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほアセット信託銀行株式会社本店
および全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店
および全国各支店
- ・ 名義書換手数料 無 料
- ・ 公告掲載新聞 日本経済新聞



日本高周波鋼業株式会社

- 本 社** 東京都千代田区岩本町一丁目10番5号
TMMビル 8F
電 話 03-5687-6023 (代表)
F A X 03-5687-6047
- 大 阪 支 店** 大阪府大阪市北区浪花町12-24
安田生命天六ビル 7F
電 話 06-4802-1480
- 名 古 屋 支 店** 愛知県名古屋市中区錦一丁目19-32
広小路ビル 6F
電 話 052-232-4151
- 北 関 東 営 業 所** 群馬県太田市植木野町328
電 話 0276-20-5071
- 富 山 営 業 所** 富山県新湊市八幡町三丁目10-15
電 話 0766-84-9014
- 富 山 製 造 所** 富山県新湊市八幡町三丁目10-15
電 話 0766-84-3181 (代表)